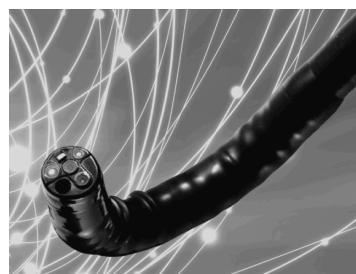


健康保険で受けられる高水準! 「痛くない」大腸内視鏡検査

ららぽーと横浜クリニック
大西達也 院長



特殊光と色素を併用した高解像度の検査を行う

大腸がんはこの50年間、増加の一途をたどっている。2006年には^{*}4万1056人が死亡（がん死因の第3位）男性4位、女性1位）しているが、大腸がんは早期に発見・治療すれば95%近くまで治すことができる。従って、大腸がんを早期発見する検査は重要だ。検査の中で最も信頼度が高いのは大腸内視鏡検査だが、「痛くて失敗もある」ことが難点だった。しかし最近「非麻酔で痛くない」大腸内視鏡検査を行う施設が評判を呼んでいる。



東京大学医学部大学院卒業・医学博士。「東大附属病院の大腸肛門科に在籍した9年間は『うまくなりたい心』で寝る間も惜しんで大腸内視鏡の訓練を積みました」(大西達也院長)

——通常の胃腸科クリニックが1日に行う内視鏡検査は平均4件程度といわれますが、こちらの現状は?

大西 当院は昨年3月15日、「ららぽーと横浜」のオープントと同時に開院したので、今まで1年に経つていません。胃腸科専門診療の他に、一般診療や日帰り手術も行っていて、1日に約100人の患者さんが来院しています。このうち約17件が内視鏡検査および内視鏡治療です。今のペースだと、内視鏡検

査は年間約5000件になります。この数字は医師1人が一般診療も並行して行う医療機関の内視鏡検査数としては、類をみない件数であると自負しています。

——手掛けている大腸内視鏡の検査法を紹介してください。

大西 当院の大腸内視鏡挿入法は、「完全・無送気・軸保持（むそうき・じくほじ）直線的挿入法」といいます。国

内でも最も柔らかい（＝最も患者さんに優しい）内視鏡准は100件）。さらに精通するためには、経験以外にも多くの専門的なノウハウが必要ですので、この方法

は「最高の技術から成る」です。この究極ともいえる挿入法を習得するには、最低でも5000件は経験しないとコツがつかめないとわれます。

——手掛けている大腸内視鏡の検査法を紹介してください。

大西 「最高に優しい医療は、

最高の技術から成る」です。この究極ともいえる挿入法を習得するには、最低でも5000件は経験しないとコツがつかめないとわれます。

——手掛けている大腸内視鏡の検査法を紹介してください。

大西 「最高に優しい医療は、



ららぽーとの北玄関に面するクリニック外観

ららぽーと横浜クリニック

〒224-0053
横浜市都筑区池辺町4035-1
TEL.045-929-5082 FAX.045-929-5083
<http://lala-clinic.jp>
【診療科目】胃腸科・肛門科・内科・アレルギー科・皮膚科
【診療時間】平日9:00~13:00/17:00~19:00
土・日・祝 9:00~13:00/14:00~17:00
【休診日】火曜日

※厚生労働省平成18年人口動態統計

ています。以前、他院で内視鏡検査の際に痛みで検査を失敗した（盲腸まで到達しなかつた）人も、今のところ全員が当院では検査を成功しています。

——大腸検査における理念はどのようなものですか。

大西 「最高に優しい医療は、

最高の技術から成る」です。

——大腸検査における理念はどのようなものですか。

大西 「最高に優しい医療は、

最高の技術から成る」